記 者 発 表 資 料

平成２１年　1月２９日
東 北 地 方 整 備 局

切迫する三陸沖北部地震津波に備える

～　津波防災講演会　in　八戸　～

２月７日（土）　八戸市庁（別館２Ｆ会議室）

三陸沖北部地震は、今後３０年以内に９０％の確率で発生すると予測されております。これらの地震・津波への迅速な対応には、防災関係者や地域住民の方々の高い防災意識が求められております。

今回、**実際に津波体験された方の体験談**や**防災の第一線で活躍されている方々から講演いただき**、更なる地域における地震・津波防災の意識高揚を目的に講演会を開催いたします。

【講演会開催概要】

◆日　時：**平成２１年2月7日（土）　１３時３０分～１６時００分**

◆場　所：**八戸市庁　別館２Ｆ会議室**
（八戸市内丸１丁目１－１）

【添付資料】

◆講演会内容・講演者は別紙「告知チラシ」を参照ください。

【取材】

◆報道関係者席を用意しております。

＜発表記者会＞

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【問い合わせ先】
国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部　港湾空港防災・危機管理課

電話０２２（７１６）００２４

課　　長　鈴木（すずき）　昭宏（あきひろ）（内線６４２１）

課長補佐　川村（かわむら）　柳茂（りゅうも）（内線６４２２）

切迫する三陸沖北部地震津波に備える

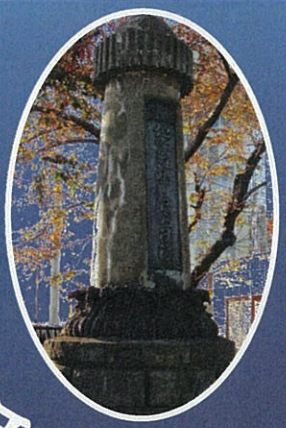
～　津波防災講演会 in 八戸　～



チリ津波 津波に飲み込まれる蕪島（八戸市HPより）



チリ津波 引潮で海底が現れ、
座礁する船団（八戸市HPより）



地震、海鳴り、ほら津波！

※“津浪”の字は現在の“津波”と違いますが、これは昭和8年の三陸地震津波被害を受けた当時の青森県知事“多久安信”氏が人々に津波の恐ろしさを忘れぬように館鼻公園内の三陸津波記念碑に刻んだ言葉です。

平成21年

2月7日（土）13:30～16:00

【会場】八戸市庁（別館2F会議室）

〒031-8686　八戸市内丸1丁目1－1

●定員：180名（参加無料）　予約等は不要です。

●当日は混雑が予想されますので、なるべく公共交通手段、等をご利用ください。

開催主旨

三陸沖北部地震は、今後30年以内に90%の確率で発生すると予測されており、今後は地震・津波に対する高い防災意識が求められています。

津波情報として、2008．7．1より気象庁から発表する津波観測地点が一部のGPS波浪計を含め、増えました。今後は、八戸港沖合に設置したGPS波浪計で観測された情報も追加され、津波情報として発表されることとなり、地域における津波への迅速な対応に役立ちます。

今回、切迫する地震津波来襲が予測される中、実際に津波を体験された方からの体験談や防災の第一線で取り組んでいる方々からの講演と地震・津波被災当時の新聞記事や写真など（資料提供：東奥日報社、デーリー東北新聞社）を展示します。今後、防災関係者や地域住民の方々の津波防災意識の向上に役立てていただきたいと考えます。

プログラム

◆12:30～　受付開始

◆13:30～　開会

【講演】

◆津波体験談～チリ地震津波の体験～
元八戸消防署長
西村　昇　氏

◆気象庁の津波警報・注意報について
仙台管区気象台技術部長
関田康雄　氏

◆津波情報と避難
東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授
中村　功　氏

◆津波の恐ろしさ
(独)港湾空港技術研究所研究主監
高橋重雄　氏

◆津波に遭わないために
日本大学大学院総合科学研究科教授
首藤伸夫　氏

◆16:00　閉会

【主催】国土交通省東北地方整備局、青森県、八戸市
【共催】財団法人　沿岸技術研究センター
【後援】独立行政法人　港湾空港技術研究所

【問い合わせ】
東北地方整備局港湾空港部　TEL 022-716-0024
青森県港湾空港課　TEL 017-734-9677
八戸市防災安全推進室　TEL 0178-43-2147